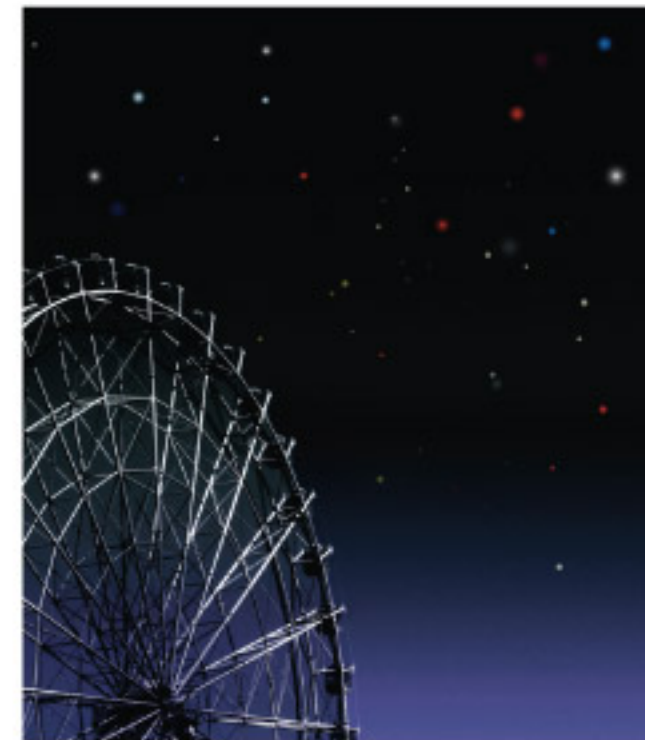


フジファブリック ニューシングル

## 「若者のすべて」

2007.11.7 発売!



全3曲収録 TOCT-40175 ¥1,000 (tax in)

1. 若者のすべて
2. セレナーデ
3. 熊の惑星

※初回生産分のみ、特製「本のしおり」封入!

## 連載/レギュラー

CDでーた 「FCフジファブリック-日本代表への道(?)」

スペースシャワーTV モバイル 「週刊金澤」

インターネットラジオ 「フジファブリックのネットネト言わせて」

毎週木曜夜9時更新(予定)!!

好評オンエア中! → [capitol.jp/fujinet/](http://capitol.jp/fujinet/)

いつでもどこでも聞けるインターネットラジオです。各メンバーのコーナーも盛り上がり上っています。お宝音源が聞けるかも。メール大募集中です! (最新HPからメールフォームを開いてください)

## フジファブリック ツアー 武者巡業 2007

10/14 (日) 吉小牧 音楽館  
open/start: 17:30/18:00 問: WEISS 011-614-999910/15 (月) 帯広 MEGA STONE  
open/start: 18:30/19:00 問: WEISS 011-614-999910/17 (水) 旭川 CASINO DRIVE  
open/start: 18:30/19:00 問: WEISS 011-614-999910/19 (金) 函館 Bay City's Street  
open/start: 18:00/18:30 問: WEISS 011-614-999911/23 (金) 広島 CLUB QUATTRO  
open/start: 18:00/19:00 問: 夢香地広島 082-249-357111/25 (日) 福岡 DRUM LOGOS  
open/start: 17:00/18:00 問: キョードー西日本 092-714-015911/28 (水) 大阪 なんば Hatch  
open/start: 18:00/19:00 問: 夢香地大阪 06-6341-352511/30 (金) 名古屋 CLUB DIAMOND HALL  
open/start: 18:00/19:00 問: ジェイルハウス 052-936-604112/07 (金) 札幌 PENNY LANE 24  
open/start: 18:00/18:30 問: WEISS 011-614-999912/08 (土) 札幌 PENNY LANE 24  
open/start: 17:30/18:00 問: WEISS 011-614-999912/11 (火) 仙台 CLUB JUNK BOX  
open/start: 18:00/19:00 問: キョードー東北 022-296-888812/15 (土) 東京 両国国技館  
open/start: 16:00/17:00 問: ディスクレージ 03-5436-9600詳しくは、オフィシャルHPまで。 [www.fujifabric.com](http://www.fujifabric.com)

## = EVENT =

12/28 (金)~31(月) COUNTDOWN JAPAN 07/08  
幕張メッセ国際展示場1~8ホール

\*出演日後日発表

問: COUNTDOWN JAPAN 07/08事務局 0180-993-634  
(24時間テープ対応, PHSからは不可)公式サイト: <http://www.rjifes.co.jp/countdownjapan/>12/29 (土)~31(月) COUNTDOWN JAPAN 07/08 -WEST-  
インテックス大阪

\*出演日後日発表

問: COUNTDOWN JAPAN 07/08 -WEST-事務局 06-6233-8787  
(10:00~19:00)公式サイト: <http://www.rjifes.co.jp/countdownjapan/>

## MORE INFO

Official HP: [www.fujifabric.com](http://www.fujifabric.com)

Hit&amp;Runオフィシャルモバイルサイト

Capitol HP: [capitol.jp/fuji](http://capitol.jp/fuji)

## 若者のすべて

フジファブリックのCEO志村君いわく「いつも愛とか平和とか歌ってるような、ウソ臭いバンドにだけはなりたくない」と。これは正論である。自称:美しい国が崩壊し、キレイごとの化けの皮がはがれても、なお増殖し続ける耐震偽装系ロックバンド。キレイごとに終始するが故に、言葉が血肉化されないのだよ。

そんなウソ臭いバンドさん達を尻目に、フジファブリックは若者の真実を歌う。「驚い鳥」「Surfer King」「パッション・フルーツ」に続く、2007年第4弾シングル「若者のすべて」が遂にリリース。あきらめや虚無からのささやかな脱出。そこには極めてリアルな、無理のないフジファブリック上昇の念が隠されている。モンゴルで自分探している御仁にも聴かせてあげたい、この傑作シングル。しかもジャパネットも驚きの低価格1000円(税込)を実現。

これで真実が手に入るなんて、手のシワとジワを合わせて幸せですな。ってなわけで、今回は「若者のすべて」リリース記念インタビューをお届け。最後までお楽しみいただひカルとくらさまいデスティニエズ・チルド崩壊。かしこ。



インタビュー・文: 保母大三郎 / デザイン: 柴宮夏希 (nemo graph.)

::: 今回の「若者のすべて」の歌詞の世界観、特にサビの部分はスゴイリアルだね。暗中模索状態が、

志村 「ズバリそこはフジファブリックが挑戦してるってことなんです。若者の暗中模索状態みたいなものを、どう表現するか。今までそういうのを照れ隠ししてた部分があったんですけど、素直に歌詞にしました。いつも真面目にやっていると、どんだけ〜って感じるじゃないですか?、どんだけ模索してんだよ?って(笑)。「Surfer King」「パッション・フルーツ」で、言葉遊び的な面白さも追求できたし、歌詞の世界観的にも面白い感じ方が出来た。演じる醍醐味があったんですよ。バカっぽい感じの曲が連続したからこそ、今回の真面目な感じは、よりリアルに聴こえると思うんです。「若者のすべて」って言えば、キムタクのドラマを思い浮かべる人もいると思うんですけど、元々、若者の歌を歌いたかったんです。でも、若者の“すべて”って感じじゃ全くないのに、タイトルに“すべて”を付けた。この勘違いさがフジファブリックらしさであり、イイと思うんです。それも無意味なようで、実はスゴい意味がある」

::: 虚無感からの脱出と言うか、珍しく前向きだよ。しかも、弾き語りバカにありがちな無責任な前向きさを歌ってるわけでもないし、自分探しバカみたいな暑苦しさもない。

志村 「そこがこの曲の核心なんです。うちら世代的にあきらめから入るし。“恋しようぜ!”じゃなく、“無理かもなあ……でも、なんとかなるかな?”っていう、そういう世代感だから。今までのフジファブリックだと、そこまでだったんですけど、今回は大サビで、あきらめの中から始まって、たまたま希望が出てきたりする。“何気ない日々は進んでいくんですよ”ってところが、今回はプラスされた。だから、暑苦しい感じもしないと思う。今までは振り返って、“あんどきは良かったな〜”って歌詞が多かったけど、今回はちょっとながら前向きに変わりました。この曲は次のアルバムを象徴してる曲になると思います。歌詞を書いている時は、そのつもりなかったのに、歌詞を書いてしばらくしたら、実生活でもこの歌詞の世界観と同じような気持ちになってきたんです……って、ちょっと真面目なこと言い過ぎました?」

::: たまにはイイじゃん(笑)。でも、この曲、ドラマとか映画の主題歌になりそうだね。

山内 「「若者のすべて」って、ドラマのタイトルそのままだからなあ。「若者のすべて2」じゃない(笑)」  
志村 「ドラマの主題歌とかもやってみたいんですけどね。でも、デビュー1年目くらいまで、タイアップとか、音楽番組の出演とか、絶対イヤだみたいなと

こありました。今はないですけど、そろそろフジファブリックが、そういう世界に顔を出してもいいかなと思うんです。3rdアルバムの次あたり。もうちょっと歌謡曲的な方向に行くのも醍醐味ですよ。歌謡曲的な方向に行かないままロックをやっているのが、果たしてロックなのか?ってことについて、最近よく思います。歌謡曲的な方向に行くと、言いたいこと言えて、世の中かき回す方がロックなんじゃないか?って」

::: 聴いてくれる人の幅が増えるしね。歌詞の世界観もそうだけど、サウンド面もがらりと変わったね。

山内 「リハーサルスタジオでパート毎に、どうやって弾こうか考えてて、でも、いつもよりは悩まずに、分かりやすい感じで、上手く出来たと思います。こういう音にしたいっていうのが、はっきりあったのかな?」

::: でも、もっと山内君のギターが目立ってもイイと思うんだけど。

山内 「ベースみたいな感じですよ。でも、曲全体と言うか、バンド全体のことを、まず考えるようになったんですよ。いい歌詞なんで、歌を際立たせたかったし」

::: 金澤君も相変わらず隠し味っぽい音だけ。

金澤 「そうですね。でも、歌を聴かせたいってなると、みんな一斉に引くから(笑)。ド〜ンって引く込む。歌の邪魔してはいけないって、みんな思ってた。目立つというより、支える方が得意かな」

志村 「3曲目の「熊の惑星」は加藤さんの曲なんですよ。それで改めて思ったんですけど、メンバー個人個人が、何をやってるとかどうとかより、考え方がバンド主義になってきていることに気づいたんです。前までは、俺も自分が作ったメロディ以外って、何をやれば良いか分からなかったんですけど、バンド主義になってきたおかげか、全く抵抗ない。昔はギター弾かない曲なんてありえなかったけど、俺が弾かない曲もけっこうあったりして、「熊の惑星」の歌詞も加藤さんを意識したり」

::: これは加藤君のことなの?

志村 「違いますけど、加藤さんがイメージに浮かんで、意味もないし、言いたいこともないし。ぼろっと思ったことを書いただけの曲なんですけど、そういう違和感と言うか、表に出てくる加藤さんのイメージは、そんなシリアスなものではないので、その弊害を出したかった。知られざる加藤さんの内面の一面を(笑)。そういうことが出来るのも、パ

ンド主義になったおかげです」

::: 加藤君もいつの間にか曲作ってたんだね。

加藤 「みんなでデモを作って発表する会があったので、地下から出ようと思って(笑)」

志村 「加藤さんが持ってくる曲は、全部ニューヨークの地下インディーズバンドみたいな曲ばっか(笑)」

加藤 「みんながそう言うから、地下から出るべく作ったんです」

::: じゃあ候補からもれた他の曲は、暗くてゴリゴリしてるの?

志村 「ゴリゴリじゃなくて、音色がアーバンな感じ(笑)。加藤さんはそういうの好きだから、ギターもディレイかかってたりして」

::: マーク・リボーみたいな感じかな? でも、そういう音もイイんじゃない?

志村 「それは加藤さんの判断にお任せしたい」  
加藤 「今後は地下を出たり入ったりしたい(笑)。何故か出したい音と、出てる音に差があるんですよ(笑)。何でこうなるのかなあ」

::: 今回は加藤君、前は山内君も作曲してたし、金澤君の曲も聴きたいなあ。

志村 「次のアルバムの中の重要な曲を彼は担ってます。見た目はオタクっぽいんですけど、曲はメロディアスで綺麗なんですよ(笑)」

::: 俺もそういう感じの曲だと予想してたけど、邪念がなさそう……。

志村 「邪念だらけ(笑)。邪念はあるけど、基本的な音として素直なんじゃないの?」

金澤 「素直に邪念が出る(笑)。たまたまみんな曲を書いてて、みんなが小さく曲ばっか書いてた時期があったんですよ。俺は簡単な分かりやすい曲でいいやって」

::: じゃあ10月からの全国ツアーが終わって、次に出るアルバムでは、みんなの曲が入るんだね。

志村 「全員の曲が入ります。それも楽しみのひとつですけど、个性的な曲がたくさん入ってるので、いろんなフジファブリックの世界を見てもらえるんじゃないかなと思います。まずは「若者のすべて」で、バンド主義で固まったフジファブリックの今を聴いて欲しいですね」



発行 フジファブリック

## 1-1 STAGE FIRST

さて、本日の「ミニスカポリス24時」は、1978年設立の名門レーシングカートコース「大井松田カートランド」にて繰り広げられた、爆発・炎上・死傷者続出の写実版マリオカートGPに参加した、フジファブリックの皆さんにアガなし突撃取材。恐ろです。

「ちょっとした頃からカートに乗るのが夢で、イメージトレーニングまでしてました(笑)」と、大子町の音速の貴公子 aka 金澤ダイスケさんの希望により実現したこの企画。トイレの本棚には、「疾風伝説 特攻の拓」「頭文字D」「湘南爆走族」「シャコタン☆ブギ」「特攻会社員」「ヤンキー烈風隊」を全巻常備。愛読誌はもちろん、超大目立ちチューン全開バリバリ轟々のMAGAZINE「チャンプロード」。洗濯物を干す時は、物干し竿代わりに竹槍マフラーを使用するという、筋金入りのメンバーが勢揃いした。ひとりだけ「俺、車の免許持ってないんですけど、大丈夫ですかね?」と、身も心も若葉マークなブリーフT男 aka 加藤慎一さんの行方だけが気になるが、勝利の栄冠は誰の手に、ってなわけで、中嶋慎のマスターPへ「恋しき水中翼船」(オリコン最高位20位)を爆音で聴きながら、ピーポくん総動員で現場に急行。



## 2-1 STAGE SECOND

矢沢永吉のトラベリンバスで、ドリフト走行すること90分、全長603mのロングコース&550mのテクニカルショートコースを誇る、夢の大井松田カートランドにピットイン。まずは喫煙休憩室にて、係のお兄さんからレース&コース説明。「直線では70キロ以上です」「その音、コースから外れて山へ突っ込んだ方もいました(笑)」と、メンバーの不安を煽りつつ、「まあ小学生でも乗ってますんで(笑)」と、係のお兄さんの花のトークも全開フルスロットルしたところで、ゲルアックの「路上」へ。雲ひとつない青空球児・好見の下、「Fカップ杯争奪 フジファブリック カートGP」が遂にスタート。550mのテクニカルショートコースをまずは練習走行。タイヤとエンジンを温めるだけなのに、ミハエル・シューマッハと並ぶベストタイム 41"823をたたき出したのは、F1オタクの金澤君。以下、無免の加藤(51"564)、煽り屋の山内(52"952)、当たり屋の志村(55"825)と並ぶ。「車の運転より力がある。ハンドルかなり重いし、とられるし」(山内)。「車より原付に近い。ギアも1速しかないし。地面スレスレ走ってるからすげえ怖い」(志村)と、困感気味のメンバーだが……。

# SUPER FUJIFAB KART

BOOM-BOOM! GRAND PRIX RACE 2007

文・保母大三四郎/写真・スージー/デザイン・栄宮夏希 (nemo graph)

## 3-1 STAGE THIRD

炎天下の中、犬神家の佐清みでえなマスクにメットをかぶり、練習ですっかり汗だくになってしまったフジファブリックの面々、ピットでご休憩してるヒマもなく、「皆さま、スターティングポジションにお着きください」との場内アナウンスが無情にも響き渡り、予選タイムアタックのスタート。とまた、赤い皇帝 aka 金澤君が、時速47.614キロの初日の出暴走で、最速ラップタイム41"584をたたき出し、ポールポジションを獲得。以下、観音隊長=加藤(47"251)、特攻隊長=山内(47"400)、万年ケツ持ちの志村(48"604)と並ぶ。

「イメージトレーニング通り(笑)。ネルソン・ピケになった気分が気持ちよかったあ」(金澤)「ダイちゃん、練習なのに飛ばし過ぎ(笑)。加藤さん、なんで直線だけめっちゃ早い(笑)?」(山内)「S字カーブ終わったところからノーブレーキでガーってね(笑)」(加藤)「加藤さんとバトルしてる時、後ろ姿がマリオカートやってる時の加藤さんの後ろ姿で(笑)。ヨッシーっぽいんだもん(笑)」(志村)と、しばしピットでご歓談。そして規定周回数10周を競う「Fカップ杯争奪 フジファブリック カートGP」決勝レースが遂にスタート!



## 4-1 STAGE FORCE

余裕の首位独走で、アラン・プロストばりの知的で華麗なる走りを見せる金澤君に対し、Wヘアピンカーブでスピンしまくりのだんご3兄弟。結局、優勝したのは金澤君(周回数10/所要時間6'50"340/ベストタイム38"863)。以下、加藤君(周回数9/所要時間6'49"734/ベストタイム43"445)が2位、山内君(周回数9/所要時間6'51"794/ベストタイム43"064)が3位、そして志村君(周回数8/所要時間6'49"914/ベストタイム46"926)でピリと順位が決定。

豪華トロフィーを手にした表彰式では「やっぱりダイちゃん、優勝しても、罰ゲームでもかけられなきゃ(笑)」と、シャンパンですぶぶ濡れの金澤君。それでも「ハマっちゃいました。実家の目の前の田んぼをカート場にしたいくらい(笑)」と、にこやかな金澤君。その隣で3位の山内君が「クラッシュしたかったなあ」と。ロックバンドとしては死傷者ぐらい出さないとね。「それこそカート・コバーン……(寒)」(金澤)と、オチもついたところで、フジファブリックのC E志村君が、ボソッとつぶやいた。「今回は浅草花やしきで、クラッシュしまくりのゴーカート対決」「またはサバイバルゲームで銃乱射」(加藤)とな。ってなわけで、次回はマエストロ傑作伝二ばりのバイオレンスな企画を予定しておりますので、皆様お楽しみに。

かしこ。

## THE FINALS RESULT

KANAZAWA		KATO	
1	total lap: 10 total time: 6'50"340 best time: 38"863	total lap: 9 total time: 6'49"734 best time: 43"445	2
YAMAUCHI		SHIMURA	
3	total lap: 9 total time: 6'51"794 best time: 43"064	total lap: 8 total time: 6'49"914 best time: 46"926	4

「秋に旅行にいくなら」



加藤慎一 SHINICHI KATO F23

沖縄に行きたいです。ゴーヤチャンプルで一杯呑みたいです。

北海道に行きたいです。ジンギスカンでもう一杯いきたいと思います。

志村正彦 MASASHIKO SHIMURA F16

1. 桂浜  
坂本電馬先生の故郷を見てみたい。
2. 同じく高知  
某女優さんの故郷を見てみたい。
3. 箱根  
小田急ロマンスカーに乗って、禁断の恋の逃避行がしてみたい。

山内総一郎 SOUICHIROU YAMAUCHI F06

近所ぶらぶらするだけ。公園で缶コーヒー飲みながらタバコを吸ったりする。温泉も行きたいけど。

金澤ダイスケ DAISUKE KANAZAWA F18

ロンドンとかパリとかミラノとか。僕は海外に行った事がありません。海外に行くならヨーロッパに行きたいです。サッカーも観たい。